

「2022年度中国・浙江大学スプリングスクール（オンライン）派遣参加報告書」

京都大学経済学部2年 尾石優希

①学習成果について

今回のプログラムでは、**口語** (Speaking)、**听力** (Listening)、**精読** (Reading) の3つの語学授業が行われ、それぞれの授業で多くの学びがありました。まず**口語** (Speaking) においては、中国語で会話をする事の楽しさを知ることが出来ました。授業内において、プレゼンテーションをしたり、質疑応答を行ったり、ダイアログを読んだりする為、中国語を沢山話すことが出来ました。その為、中国語で話すことに自信がつくとともに、楽しんで話すことが出来るようになったと思います。次に**听力** (Listening) においては、中国語を聞き取る能力を高めることが出来ました。授業内において、毎回リスニング問題をひたすら解く為、プログラム参加前よりも中国語が耳に馴染んだように感じました。また、授業中にはわからなかった問題についても、家で何度も聞き直すことで理解できるようになるまで復習を行ったことも有意義でありました。最後に**精読** (Reading) においては、語彙力を高めることが出来ました。授業内において、新出単語の確認テスト、各単語の詳しい説明、例文紹介等が行われる為、各単語に対する理解が深まり、とても勉強になりました。

②プログラムでの経験について

今回のプログラムを通して、第1に私自身の中国語能力を向上させることが出来ました。これまで、約2年間中国語を第2外国語として学んできましたが、中国語の授業は週2コマしかなく、他の授業等もある為、中国語の学習にまとまった時間を割くことが出来ませんでした。しかしながら、今回のプログラムでは、月曜から金曜まで毎日中国語にまとまった時間触れることが出来、中国語に関するスキルが着実に上がったと感じました。また、第2に中国という国について理解を深めることが出来ました。文化**講座** (Culture Lecture) を通じて、中国の交通、経済、自然等様々な側面について知ることが出来、とても感慨深かったです。また、共同セミナーでは、日本と中国のことについて互いに紹介しあったり、**微信** (We Chat) のアカウントを交換しあったりと、交流を深めることが出来ました。今回のプログラミングで学んだことを活かして、中国に行ってみたいと強く感じました。

③プログラム内容について

プログラム内容は、大きく分けて5つに分かれていました。1つ目は、**口語** (Speaking) の授業です。この授業は、授業冒頭に中国語での短いプレゼンテーション (内容は自由) を行う時間が設けられていました。その後、新出単語の確認を行い、**ダイアログ** を皆で読んでいくというスタイルでした。2つ目は、**听力** (Listening) の授業です。この授業は、毎回教科書のリスニング問題をひたすら解き、先生に問題解説をしてもらうというスタイルでした。3つ目は、**精読** (Reading) の授業です。この授業では、毎回授業の冒頭に新出単語の確認テストを行う時間が設けられていました。その後、新出単語の詳しい説明を行い、**ダイアログ** を皆で読んでいくというスタイルでした。4つ目は、文化**講座** (Culture Lecture) の授業です。この授業では、毎回異なる視点から見た中国の歴史、及び現状について学びました。5つ目は、**一対一辅导** (One to One Tutoring) の授業です。この授業では、毎回異なるトピックについて中国語で短く発表し、先生からの質問に答えるというスタイルでした。加えて、プログラムを受講している中で困ったことがないか等の悩みを相談することも出来ました。

④進路への影響について

今回のプログラムを通じて、私自身の中国語能力をプログラム参加前よりも確実に向上することが出来ました。また、これからもっとその能力を高めていきたいと強く感じました。私はこの春から3回生になり、就職活動の時期が刻一刻と迫ってきているという状況にあります。その為、今回のプログラムで得た経験を糧にこれからも中国語の勉強に励み、就職活動時にもその能力を上手く生かすことが出来たら良いと考えています。